

東京理科大学新聞

【発行所】
東京理科大学新聞会

＜住所＞
〒162-0825
東京都新宿区
神楽坂1丁目3番地
2号館 2515 部屋

＜連絡先＞
E-mail
tuspress@gmail.com
HP
http://tuspress.jp

- 2 受賞者紹介
- 3 体育局活動紹介
- 4 理窓会・書籍紹介・坊っちゃん焼き

向井千秋さん 副学長に就任

女性初の宇宙飛行士として有名な向井千秋氏が、2015年4月1日付で本学の副学長に就任された。今回、副学長に就任された感想や意気込み、宇宙での経験、本学に関して取材をさせていただいた。

Q. 副学長に就任された経緯を教えてください。

A. 副学長の森口泰孝先生が以前科学技術庁（現・文部科学省）に勤められていて、私が宇宙飛行士をしていて、私がお会いしたのが始まりです。その後、難しいことを易しく、わかりやすく教えること、特に子供から研究者まで面白いと思えるようにするには、どのような工夫をすれば良いかに興味を持ち、秋山

仁先生の数学生験館を見に行きました。その時教育についての話を学長の藤嶋昭先生方とお話しして、宇宙の面白さも同じように皆さんに伝えられないかと考えていたので、どうすればそれぞれの専門内容の面白さを伝えられるか、人にものを教えるにはどうしたら良いかなどについて話し合いました。話が進む中で特任教授、その後副学長に就任させていただきました。副学長になりました。

Q. 副学長に就任された感想を教えてください。

A. 教育にも研究にも熱心ですごく熱意を持っていらっしゃる学長、本学を世界の理科大にしたいと目を輝かせていらっしゃる理事長や他の副学長と一緒に仕事ができるのは、私にとって大きな喜びです。国際化推進と女性活躍推進は、女性活躍推進の面で、各キャンパスに学生主体のチームを作り、教職員のコミュニケーションや、そこで行われている会議などに学生の声を届けてほしいと考えています。学生が声を上げてくれることを待っています。

Q. 女性初の宇宙飛行士という点で、男性が多い環境だったと思います。どのように取り組まれていますか。

A. 国際的な面で本学のありべき姿として今挙げられている「Global US」などのプログラムを進めていきたいと思っています。世界の学生や研究者が本学に来て、本学の人々が世界に行くエクステンジブプログラムが進んでほしいです。理科大という名前がMADAI（が世界に通じるような時代になれば良いと思います。そのためには学生が母校を良くしようと思えば、世界に理科大という名前が届くように頑張らなければならないと思っています。是非理科大の名を世界に轟かせてください。女性活躍推進の面では、女性の社会進出や男女共同参画を進めるため、女性も男性も協力してほしいです。これは教職員だけでなく、女性も男性も協力してほしいです。これは教職員だけでなく、女性も男性も協力してほしいです。これは教職員だけでなく、女性も男性も協力してほしいです。

Q. 仕事に関して言うと、宇宙飛行士になる前、医師として働いていた際も同じ考えでした。最初からその考えを持っていました。大学の場合、勉強不足

や技能不足でミスが起きたと考えます。男性や女性に単なる生物学的な区別であって、仕事に関して男性でも女性でも、日本人であれアメリカ人であれ関係ないと思います。そのために、男性の多い環境に不安などはありませんでした。

Q. 宇宙に行くと一番感動したことは何ですか。

A. 皆さんは、多分地球の神秘的な風景だと予想していると思います。しかし、実際は地球に帰ってきた時に感動がありました。普通物が机の上に置いてあることや、上から下へ落下することや、重力加速度や万有引力などがあることが、当たり前だと思っていたのではありません。宇宙に行くとそういう風景がないので地球に帰ってきた時に物がつまらなく落ちる、投げると放物線を描くことで本当に重力加速度や万有引力はあると実感し、感動しました。地球上で当たり前前に起こっている物理現象が不思議だということがよく分かりました。



▲副学長に就任された向井千秋さん

Q. 本学学生には是非経験してほしいこと、やってほしいことは何ですか。

A. 学生のうちは何でもチャレンジして失敗することです。学生の時はまだ許されるのでたくさんあります。社会に一度出たらもうはいきません。例えば私が医師の時、患者さんが待っているのに欠勤することや、私たちが1人で生きているのではなく、繋がりがあって、1人が怠けると社会の歯車が回らなくなってしまうので、自分の人生は自分で切り拓くものだから、真剣にやっていたら、真剣にやっていたら、失敗しても必ず次の原動力になるので、恐れずにさまざまなことに挑戦して世界を広げてほしいです。他には、専門分野を絶対持つべきです。その上で、学際的に違うところと連携を上手くやってほしいです。1+1を2ではなく、3やそれ以上にするような人になってほしいです。私は皆さんを応援しています。

▼時間とは人類皆に平等なものとはよく言うが、確かに私もその通りであると思うし、数少ない人間の平等に与えられたのだとも思う。人に限らず、地球は人間が作った尺度により自転をおおよそ24時間で定義され、他の生物も一日の尺度で行動を支配されている。しかし、別の視点から見れば時間の平等性について違った知見が得られるのではないだろうか。▼例えば、能力の違った人に対して同じだけの仕事量を与えれば、優れた人がより早く仕事を終わらすだろう。同じ内容の仕事に対してかかる時間が違うため、早く終わった人には時間ができた仕事ができる。要は過剰にしている時間の密度の違いだ。このような密度の違いは形を変えて日常生活のなかでも当てはまる。我々が普段受けている授業では真面目に受けている人と、寝ている人とは過剰な時間の密度に大きな差が出る。言ってしまうと時間を自ら捨てているのである。数少ない平等という条件を自ら捨て、時間がないと嘆いているのであれば救いようがない。逆に本当の意味で時間のない人は、作業の効率化や、無駄な時間を徹底して無くすことで、時間が生まれるはずだ。このように小さな積み重ねが、豊かな時間を生むのではないだろうか。思い当たる節があるのであれば、このことは即実行に移すべきだろう。今この瞬間こそが、残りの人生の中であなたが一番若い瞬間なのだから、今やらない理由はない。(ag)



国内最大級！ 昨年の来場者5,000名
東京理科大学の先輩もみんな参加したイベント

約80社
出展予定

キャリアタス就活フォーラム
[career+]

インターンシップ & 仕事研究

6.13 (土) 11:00▶18:00

東京ビッグサイト [西3ホール]

表参道 学年 入場 服装
申込 不問 無料 自由

【出展予定企業】 今後続々出展予定！ キャリタス就活で速報中！

アルク、アルバック、NTTコムウェア、大塚商会、ケイアイスター不動産、日清食品ホールディングス、日鉄日立システムエンジニアリング、ニトリ、日本電産、日本ユニシス、ニラク、ペルーナ、ホクト、マルイチ産商、マルハニチロ、リログループ、リングアンドリンク、WORKS GROUP [5/18(月)現在] 参加申込はQRコードで今すぐ！

日本経済新聞のニュースや業界MAPで
効率よく業界・企業研究できる！
さらに、豊富なインターンシップ情報や診断ツール、
Webテスト模試などでみなさんを強力サポート！

キャリアタス就活
[career+]

https://job.career-tasu.jp/2017/

キャリアタス就活 検索 企画・運営 株式会社ディスコ

インターンシップ エントリー受付中!

Facebook Twitter でインターンシップイベントや、就職準備に関する情報を発信中!